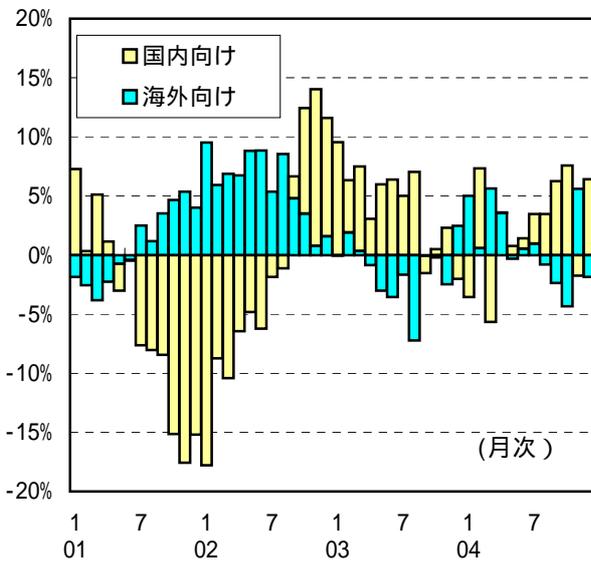




## 最近の鉄鋼生産と中国を巡る状況

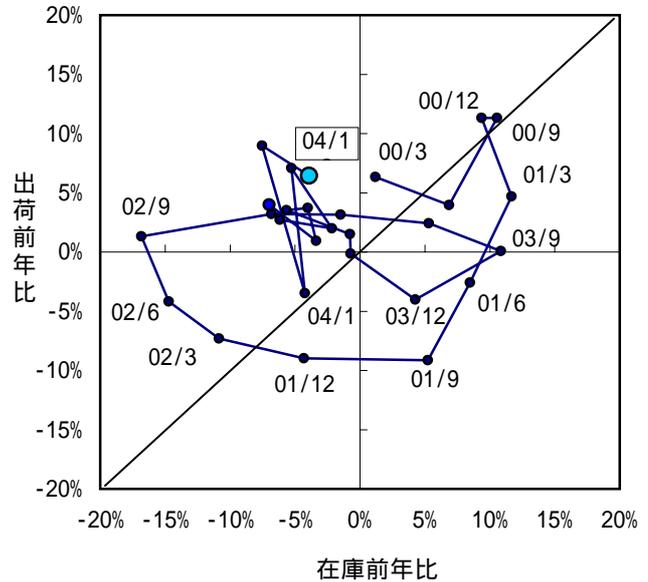
- ・2004年の粗鋼生産量は、1973年、74年に次ぎ過去三番目に高い水準である1億1,267万トン（前年比2.0%増）になった。また、足下では、輸出向けが前年比減少しているが、これは旺盛な内需向けを優先しているためとみられており、粗鋼生産はフル稼働が続いている。
- ・一方、鋼材消費世界一位の中国は鉄鋼生産が3年間で倍増しており、2005年の粗鋼生産は3億トンを超える見込みである。
- ・中国の2004年11月の鋼材輸入は179万トン、鋼材輸出は192万トンとなり、直近では鋼材の純輸出国となっている。
- ・このように鉄鋼を巡る中国の位置付けは大きく変化しており、今後の動向が世界の鉄鋼や原材料需給に大きな影響を与えるものとみられる。

図表1 日本の粗鋼生産（対前年比増減寄与度）



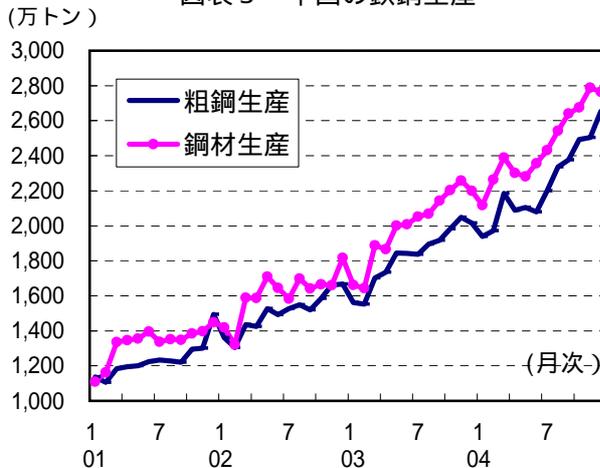
(備考) (社)日本鉄鋼連盟「鉄鋼需給統計月報」により作成。

図表2 普通鋼国内在庫循環図



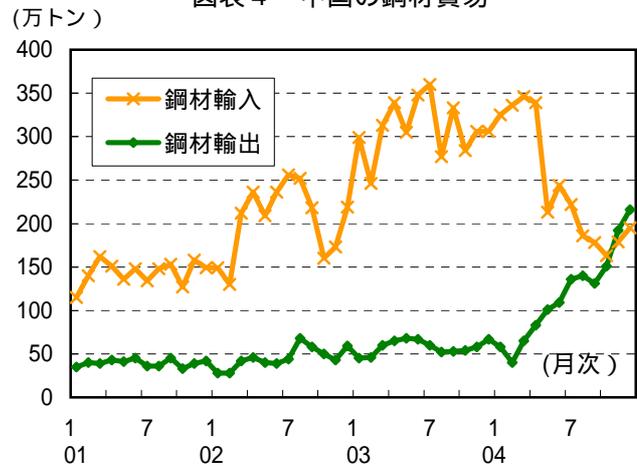
(備考) 図表1に同じ。

図表3 中国の鉄鋼生産



(備考) (社)日本鉄鋼連盟「海外鉄鋼市場の動き」により作成。

図表4 中国の鋼材貿易



(備考) 図表3に同じ。

[調査部(産業調査担当) 國見 寛通]

お問い合わせ先 日本政策投資銀行調査部

Tel: 03-3244-1840

E-mail: report@dbj.go.jp